

脳神経外科

私は初期研修を当院で行い、専攻医として脳神経外科で勉強しています。当院の専攻医は1学年あたり約2人で、そのうち約半数は他院で初期研修を行ってから当院と一緒に後期研修を行っています。当院で後期研修をする利点として下記のことがあると研修期間を通して感じています。

① 豊富な症例数

脳血管障害、脳腫瘍、外傷疾患は他院に比べて圧倒的に症例数が多く、少ないながらも脊髄疾患、小児脳外科疾患もあり脳神経外科専門医の受験に必要な症例を経験することには困りません。

② 血管内治療

血管内治療の第一人者の坂井信幸部長がいるからこそですが、未破裂脳動脈瘤、AVM、dAVF、頸動脈狭窄症などの血管内治療が非常の多数あり、また新規の医療機器の治験や試験など他の病院では絶対に経験できない脳血管内治療が経験できます。脳神経外科専門医試験が済んだら、すぐに脳血管内治療専門医を受験できる経験を積むことが出来ます。

③ 脳梗塞の急性血行再建

充実した神経内科のスタッフとともに総合脳卒中センターを運営しており、神戸市内で発症した急性期脳梗塞の患者さんが3分の1以上搬送されますので、tPAの静注、カテーテルによる血栓回収療法を積極的に行っています。レジデントも参加できる良い環境です。

④ 外傷

3次救急病院のため高エネルギー外傷や多発外傷などの診療にあたり、診たこともないような外傷が診られます。そのような症例を通じてICU管理も勉強になります。

⑤ 緊急入院が多い

緊急症例は当直や当番医が主治医となるため後期研修医でも脳出血や急性硬膜下血腫など執刀のチャンスは多々あります。

このように、様々な症例に携わることができ、上級医の先生が研修医の知識、技術を伸ばそうと考えてくださっていますので、研修医が勉強する場としてとてもふさわしい施設だと考えています。当科は様々な出身の先生が集まっておりそのため非常に雰囲気もマイルドで仲良く診療を行っています。是非一度見学に来てください、お待ちしております。